

日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2022年
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 5月9日

8月の広島に向け夢の島から平和行進出発！



2022年原水爆禁止国民平和行進・東京→広島コースが5月6日、江東区夢の島の第五福竜丸展示館前で出発集会をおこない、広島に向けて出発しました。

出発集会は、松平晃さんと全国通し行進経験者の山内金久さんによる「原爆を許すまじ」トランペット二重奏で開幕。原水爆禁止世界大会実行委員会共同代表/日本原水協代表理事の高草木博さんが開会あいさつしました。

続いて第五福竜丸平和協会代表理事の奥山修平さん、日本原水爆被害者団体協議会代表委員の田中熙己さん、一般社団法人東友会代表理事/東京都原爆被害者協議会会長の家島昌志さん、日本青年団協議会事務局長の棚田一論さんが連帯あいさつをおこない、日本山妙法寺の武田隆雄上人から寄せられたメッセージが代読されました。田中さんは、四国コースを行進する山口逸郎さんを紹介しました。

ウクライナ支援・リトアニアからの報告と「ひまわり募金」の訴えがあり、東京高校生平和ゼミナールOGの田原ちひろさん（音声のみ）と全日本建設交連一般労働組合/Ring! Link! Zero 実行委員会の山内理恵さんがリレートークで発言しました。広島のうちごえの山上茂典さんが飛び入り参加し、自作の歌とともに平和行進の歌を歌ってくれました。「ひまわり募金」は9万円超が寄せられました。

日比谷公園までの行進には、のべ300人を超える参加がありました。また、東京の被爆者23人が参加し、銀座の数寄屋橋では先頭を歩いて注目を集めました。シンガーソングライターの大熊啓さんが作った平和行進音源（ヒップホップコール）は、軽快なリズムに合わせて韻を踏んだメッセージが沿道の人にもよくわかるものになっており、子どもが曲にあわせて応答したり、手を振ってくれたりとの反響がありました。また、行進参加者からも歩きやすいと好評でした。

2日目の5月7日は、港区の芝公園で出発集会がおこなわれ、武井雅昭港区長の激励メッセージが代読され、港区の被爆者の会「港友会」の代表にペナントが手渡されました。この日は品川区、大田区と行進し、六郷土手で神奈川県に引き継がれました。